

# 長研だより

## No. 2

発行日

平成29年10月12日

### 長期研修ゼミナール（所長講話）



研修センターの長期研修では、所長、次長、各課課長より講話をいただく長期研修ゼミナールを実施しています。これは、長期研修生の視野を広げ、教員としての資質能力の向上を図ることを目指しています。

9月29日（金）の菅又次長兼教職教育課長の講話を皮切りに、長期研修ゼミナールがスタートしました。第1回目は、教師という仕事のやりがいについて、自らの経験を基にお話いただきました。

10月6日（金）午後には、安藤所長から1時間の講話をいただきました。「長期研修の意義」「教師としてとりついた境地」「仕事は楽しく、遊びは真剣に」「人との出会いが教師人生を変える」という内容で、安藤所長の豊かな経験からお話をいただきました。所長講話は、長期研修生の思いや考えを引き出しながら進みました。

長期研修生からは、所長講話の趣旨を踏まえ、この後の3日間の連休を、有意義に過ごしたいという声が聞かれました。

### ～研究計画検討会終了～

10月2日（月）の3か月、10日の6か月の研究計画検討会が終わりました。

3か月生は、分野別の5班に分かれ、研究計画の方向性を検討しました。また、6か月生は、全指導主事が見守る中、発表を行い、たくさんの意見や質問をもらいました。これから、研究計画を固め、研究計画発表会に向けて準備を進めます。

研究発表会の後は、勤務校に戻り、現地研修に入ります。

長期研修の毎日は、朝の会でスタートします。朝の会では、2人の日直が司会とスピーチを行っています。一回り目は、「学校紹介」をしています。発表に当たる長期研修生は、プレゼンの力を生かして、写真を提示したり紹介するポイントを工夫したりして、勤務校を説明します。それぞれ学校紹介は、勤務校への愛校心で溢れています。

